



上田女子短期大学

通信

— vol.083 —

2019.7.10



学長 小池 明

ALL UEDAの精神で

この三月には161名の卒業生を送り出し、四月には160名の新入生を迎えました。卒業した諸姉には本学で培った専門知識、技能と教養を活かし、先輩同窓生の様に確固とした社会人、何より人として立派に生き抜いて欲しいと願っています。卒業生と新入生の入れ替わりを繰り返すのが大学ですが、主役は常に学生の皆さん自身であることは不変、それだけに新入生と2年生には大学生ならではの過ごし方、勉強だけに留まらず長い人生を情操豊かに生きていく資質、力を養って戴きたい。英語で青年を表すのにpromising youthという言い方をよくします。そこには春秋に富む、前途有為で在れという期待が込められている。皆さんもそうなって欲しいし、そうで在ると確信しています。

過去の入学式などで紹介したエピソードで世界的な建築家の安藤忠雄氏に就いてのもの、氏は建築家を志望したものの経済的な事情で大学進学を諦めたのですが、独学で建築学を学び、最後は東京大学の教授として教鞭もとられた。氏は述懐しています。進学した友人たちに負けじと大学4年分の教科書を買込み、一年間で全て読破、理解したと思った。しかし独りで勉強していると自分がどの段階にいるかを確認できず常に不安であった、と。皆さんは沢山の学友とともに学べる幸せを存分に味わって下さい。学生時代を大いに謳歌して下さい。

今回から「短大通信」のスタイルが変わりました。本号には後援会のごことも併せて掲載されています。同窓会と併せて本学にとってかけがえのない存在であることはいうまでもありません。大学の価値、評判は在学生、卒業生、教職員の在り様で殆ど決まると言って過言ではない。後援会、同窓会の日頃の御支援に感謝しつつ、更にオール上田の気持ちを新たにしてお互いに手を取り合って前進していきましょう。



多様化社会の中で…

幼児教育学科 学科長
佐藤 厚

上田から東京中心地まで、もし、歩いて行くとしたら5日以上かかり、車(高速利用)だと約3時間半、新幹線で90分

です。昨今、世界中の人も物流も猛スピードで、しかもそれが当たり前のように交流しています。自身が考える余地もなく変化を受け入れる気持ちに駆られますが、時にはボーっと佇む「間」が必要です。「間」の中に文化芸術も科学も創造されてきましたし、そして人間関係にこそ「間」が大切なのだと思います。

学生たちとも、スピード感と「間」をもって反対の合一と師弟同行、互いに創造的な研鑽を積んでいきます。



次代を見据える

総合文化学科 学科長
大橋 敦夫

20世紀の終わりころ、21世紀に必須のものは何かという議論が盛んになりました。未来予測は、なかなか難しい

ものですが、その中で、自動車の運転免許と、(ワープロやパソコンの)キーボードの習得は欠かせないだろうと指摘する向きがありました。

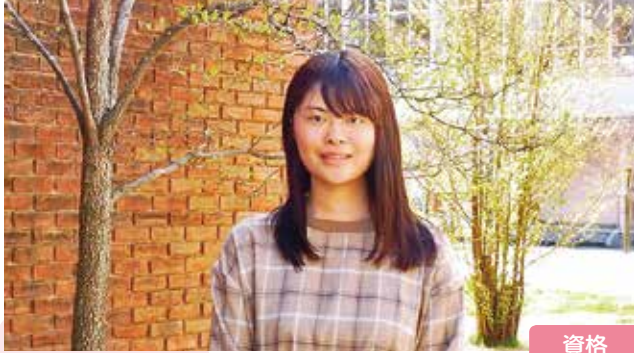
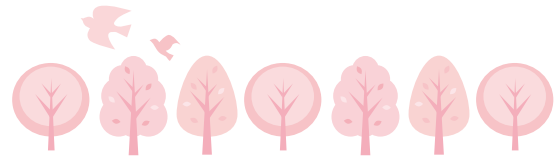
かなりイイ線をいっていたと思いますが、今やその二つも、自動運転や音声入力の開発が進んでいます。機械の発達は、人手不足を補う面に加え、人間を「ずくなし(=怠け者)」にする面もあるようです。

次代を支える学生たちに伝えるべき不易なものは何か。模索の日々を重ねています。

幼児教育学科Topics

学科紹介

「自然保育」「福祉社会」「芸術表現」の各コースがあり、いずれも幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得を目指します。附属幼稚園でのプレ実習を始め、裏山での自然保育、あそびプロジェクト、ゼミ活動等を通じて日常的に子どもたちと触れ合うことができ、魅力的な保育者を養成しています。



資格
特待生

幼児教育学科1年

脇島 寛乃さん(長野西高校出身)

私は将来、幼稚園教諭や保育士といった子どもと接する仕事に就きたいと考えています。本学には隣接されている附属幼稚園があり、普段から子どもと近い距離で過ごすことができることは魅力的です。また、レベル別のピアノの授業や多くの実習を経験できるため上田女子短期大学に入学しました。

2年間では、学業に励み、子どもの発育、発達等に関わる知識を身につけ、実習で活かせるようにしていきたいです。さらに、友達と共に協力し合いながら学び、多くの人とコミュニケーションを積極的にとりたいたいです。

ピアノと合唱の経験があるので、実習ではピアノや歌を歌うことを通して、子どもたちに音楽に触れる楽しさを知ってもらいたいと思っています。



推薦
特待生

幼児教育学科2年

高橋 ひかるさん(上田染谷丘高校出身)

1年次は勉強にアルバイト、趣味等をバランスよく生活に取り入れて、充実した学生生活を送ることができました。2年次はそれに加えて社会人になる準備として、私は朝起きることが苦手なので、自分ひとりで起きること、時間ギリギリで行動するのではなく、余裕をもって行動できるようにしていきたいと思っています。

休日はアルバイトやボランティアに取り組むことが多いです。放課後等デイサービスで、軽度の障がいを持ったお子さんの宿題をみたり、一緒に運動したりしています。その中で保護者の方ともかわりを持ってますし、さまざまな障がいを持つお子さんに対する対応方法を学んでいます。将来は放課後等デイサービスで働きたいと思っていますが、まずは保育の現場で経験を積み、その後施設で働きたいと思い、現在は保育園での就職を第一に考えて活動しています。

実習指導室より

実習は「おもしろい」ものです。子どもたちは、大人が気にも留めないようなことに夢中になっていたり、何度も何度も同じことを繰り返して遊んでいたりと。一緒にいるだけで発見できることがたくさんあります。実習を通し、子どもたちに寄り添ってたくさんの学びをしていきましょう。そして色々なことにチャレンジしていきましょう。実習指導室はみなさんの「身近な応援団」です。どんなことでも話しに来てください。



～プレ実習の様子～

年間行事

年間 ●信州大学教育学部との単位互換授業

5月～6月 ●プレ実習

7月 7日 ●やまほいくの里山プロジェクト
9月 15日
10月 20日

7月～10月

15日～18日
8月 ●幼児キャンプ(信州大学公開講座)

8月

11月 ●遊びプロジェクト

1月

19日 ●新春コンサート&美術展
26日 ●やまほいくの里山プロジェクト

2月

●児童文化研究所大会

総合文化学科Topics

学科紹介

さまざまな免許・資格・検定にチャレンジする学生が、活気に満ちたキャンパス・ライフを送っています。蔵書数8万冊を誇る附属図書館、自然光あふれる学生ホール等、各自がお気に入りの場所で目的達成にむけて励んでいます。



推薦
特待生

総合文化学科 1年

片桐 光紀さん(小諸高校出身)

上田女子短期大学を選んだ理由は、図書館司書、医療事務の資格が取得できるからです。将来は図書館司書を目指しています。司書に関する授業では、専門的なことを学ぶので大変なこともあります。興味のある分野なので楽しいです。医療事務については、後期から講座が始まるので、2年間の中で両方の資格を取得したいと思います。

学生生活では勉強はもちろんですが、サークル活動など様々な人と関わって、同じ趣味を持つ人や自分にはないものをもつ人と仲良くなりたいと思っています。

サークルはアニメサークルに入りました。他学科の友人や先輩方と楽しく活動しています。

空き時間に学生ホールで過ごす友人とのおしゃべりも楽しみの1つです。



資格
特待生

総合文化学科 2年

本間 彩音さん(上田東高校出身)

将来は地域社会の活性化に貢献できるような仕事に就きたいと考えています。2年次は、社会人に向けてさらに知識を深めるために勉強してみたい資格などがあれば挑戦できたらと考えています。

現在は、合同企業説明会、会社説明会、就職セミナーに行くなど就職活動を頑張っています。地元での就職を考えており、業種は絞っていませんが、事務職を希望して就職活動中です。

1年次は資格取得のための勉強に力を入れ、MOS試験(word)、日商簿記3級、秘書検定2級、医療事務技能審査に合格しました。授業の空き時間も使い、勉強をし、授業で分からなかったところは、直接質問をしに行き、教えていただきました。今年は人生最後の学生生活なので、思い切り楽しみたいと思っています。

学海ハイク

好天に恵まれた5月11日(土)の午前、ゼミごとに上田市内の「街なか散歩」を楽しみました。城下町の中に展開する商店街と歴史の積み重なりを堪能しました。



年間行事

5月

11日 ●学海ハイク

6月

15日 ●総合文化研究所・大会
「信州弁の日(その2)」

13日~14日

●研修旅行
(古都研修:鎌倉・横浜方面)

11月

1月

27日 ●卒業研究発表会

22日・29日

●公開講座
「外から見た信州方言(その2)」

2月



附属幼稚園の保育環境について

上田女子短期大学附属幼稚園
園長 水野 美恵

平成30年に竣工した新園舎で一年間保育を行ってきました。最新の施設なので快適でしたが、常に「そこで子どもたちがどんな経験をするのか」を考えてきました。主語が誰であるかが肝心だと思います。「保育者が子どもたちにどんな経験をさせるのか」ではありません。

附属幼稚園が開園から41年間掲げてきた教育の目標は、「生き生きしている子ども」「健康な子ども」「心の豊かな子ども」です。ここでも「このような子どもを育てます」ではなく、「このような子どもに育ちます」とお伝えし、子どもたちの育ちをサポートしていきたいと思います。子どもたちが育つためには多様な環境が必要です。多様でなければ選ぶことはできません。私は最近、「選ぶ力を持つこと」こそ主体的になれる秘訣だと考えています。



裏山を持っている本園は、いつでも身近に自然を感じることができます。これによって五感は自然と磨かれ、感性豊かな子どもになっていきます。好奇心のアンテナはおもしろいようにぐんぐん伸び、しなやかな心は、いろいろなものを吸収していきます。変化をし続ける自然は本物。本物は心を強く揺さぶります。感動すれば動きたくなる、話したくなる、交わりたくなる、自然と主体的になっていきます。3歳だから、4歳だから、5歳だからと、内容を限定することはナンセンスです。時には大人の通訳も必要です。どう訳すのかは、その人のセンスと保育者としての力量がも

のを言うので、大人にも修行が要ります。そう考えると一番大事な環境は人ですね。

また、本園では、自然のある裏山や園庭に限らず「地域」に目を向け、地域資源も活かす保育を行っています。地域も保育環境に入れると、子どもたちの選択の幅は広がります。地域の自然（宇宙）も、文化も、人が作り出した全てのモノ、人の脳みその中にまだある「夢」も環境です。随分大きな話になってしまいましたが、令和も保育環境をそんなふう



に捉えて保育を楽しんでいきたいと思っています。

子どもたちがどんな経験をするのかは考えるだけでなく、しっかり語れなくては私たちの役目は果たせません。保育や自分の思いをしっかり語れる保育者を目指していきたいと思っています。今後も附属幼稚園をよろしくお願ひいたします。



笹井 弘 教授に 名誉教授の称号授与

笹井 弘 教授は、幼児教育学科において長年にわたり、学科長・教授としてご勤務いただきました。平成31年3月31日付退職にあたり、本学在職中の教育学術上の功績が認められ、上田女子短期大学名誉教授の称号が授与されました。

上田女子短期大学 新任教職員 紹介



幼児教育学科 専任講師
赤塚 正一



幼児教育学科 専任講師
吉澤 俊



入試広報課 課長
出澤 治夫



入試広報課 室長
倉田 吉春



進路サポート課 課長
片桐 良



実習指導室 係長
小林 亜樹子



総務課
北村 祐子

後援会だより

会長ご挨拶

今年度、後援会会長を仰せつかりました新增と申します。これから1年間、役員様はじめ、会員並びに教職員の皆様のご指導ご協力を賜わりながら活動に取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

後援会は学生の皆さんがより充実した学生生活を過ごせるよう、さまざまな支援活動を行っています。時代は「平成」から「令和」へと移り変わりましたが、学生の皆さんにはこれからの一層、学内外研修、学習活動、課外活動、就職活動などたくさんの活動を通して、社会へ進むための足掛かりとして、学び、吸収していただければと思います。

上田女子短期大学での学生生活が楽しく、より有意義な時間を過ごせるよう会員の皆様にはご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



令和元年度 後援会 会長
新增 隆義

令和元年度 後援会役員

(敬称略)

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 会 長 | 新增 隆義 | 評 議 員 | 笠井 昭彦 |
| 副 会 長 | 大沼 稔 | // | 所 みゆき |
| // | 北澤健太郎 | // | 石黒 美幸 |
| 監 事 | 本間 麗子 | // | 龍野 寿子 |
| // | 市川 美保 | // | 山田 恵美 |
| 新潟支部長 | 佐野 寿広 | // | 松本 順子 |
| // | 塚田美佐子 | // | 原山まゆみ |
| 評 議 員 | 藤丸 和幸 | // | 山本 邦彦 |
| // | 山口 ゆり | // | 坂本 勉 |
| // | 高橋 秋一 | // | 丸山 聡子 |

令和元年度 後援会総会 開催

6月8日(土)に本学21番教室にて後援会総会が行われました。

総会終了後には、「現場が求める人材像～家庭教育の大切さ～」と題し、合同会社

ライトハウス・キーパーズ代表 石田浩也氏と上田市西内保育園 長坂美江子園長をお招きし、講演会を行いました。

それぞれのお立場から、採用側の現状や企業や園が求めている人材像に対して、どのような家庭教育が必要であるか、学生本人が、普段の生活から意識して身につけておきたいこと、現場での採用状況等について、ご講演いただきました。講演会終了後はゼミ別に分かれて懇談会を行いました。



令和元年度 上田女子短期大学後援会 新潟支部総会 開催について

毎年恒例の新潟支部総会を下記のとおり行います。当日は後援会会長をはじめ、学長・教職員も参加し、学生生活・就職状況等についてご説明します。また、今年度も本学同窓会役員会および同窓会新潟支部会役員も出席し、卒業後のサポート体制等をお伝えするとともに、「社会が求める人材」について、講演を行う予定です。

新潟支部の会員以外で、出席を希望される方は、本学後援会事務局までご連絡をお願い致します。

(申込締切:9月25日(水) ☎ 0268-38-2352)

皆様のご参加をお待ちしています。



平成30年度新潟支部総会の様子

日時 令和元年10月19日(土)
11時~14時(予定)
場所 高陽荘(上越市)
(高田駅から徒歩7分)

☎025-522-2930

学校法人北野学園 上田女子短期大学 「夢スタート募金」について

本学では、1973年の開学以来、地域に根ざした短期大学として着実にその歴史を積み上げ、1万人を超える卒業生を社会に輩出してまいりました。

2017年度より、教育環境と奨学支援制度の更なる充実を目指し、「上田女子短期大学 夢スタート募金」の募集を行っています。平成30年度は後援会会員の皆様よりお預かりした後援会費から、30万円を「夢スタート募金」へ寄附いたしました。学生がより充実した学生生活を送れるように学修環境の整備等に使用させていただきます。

今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



父から娘へ



いま想いを語る



「普通の大人に」 幼児教育学科2年 笠井 華織 / 父・昭彦

私も妻も、娘には普通の大人になって欲しいと思って接してきました。

「人として普通」の大人に。ご近所の方に、あいさつができる、ルールを守れる、人に親切にできる…とか、普通のことが普通にできる大人に。

娘の「普通」は私と同じではないし、年齢や時代とともに変わっていくでしょう。

それでも娘の中には、変わらない確かな「普通」があると知っています。

それは、今まで関わった多くの方々のおかげで持てたものです。

今持っている「普通」をずっと大切に、素敵な大人になってください。



時の流れは早く、 後半年余りで卒業 幼児教育学科2年 佐野 可純 / 父・寿広

この間で進路行先をきめなくてはならない、気持ち的に焦るかもしれないが、焦らず、じっくり自分が進むべき道を(保育士、または?)考え決めてほしい。

もし行き詰ったら…あなたのそばに誰がいますか？

また、卒業までの残された時(学生生活)有意義に悔いのない時を過ごしてほしい。

最後、来年は新社会人一年生、当初苦労の連続。何事にもめげずに、自分を信じ、前へ前と一歩ずつでいい、歩んでほしい。必ず道はひらける。

頑張れ、我が愛しの娘。

母校へ

我が子を入学させて



幼児教育学科1年 青木 遥南 / 母・由香

娘が保育士になりたいという夢は、以前から聞いていましたが、その夢を叶える場所が私の母校に決まった時は、何か不思議な感じがしました。

久々に訪れた上田女子短期大学、以前より充実したキャンパスに、安心して通わせる事ができるなと感じました。

ここで、たくさんの事を学び、社会人に向けての準備をしていってほしいです。そして、子どもの気持ちを受け止め、共感できる保育士を目指し、頑張してほしいと思います。

あっという間の二年間。一日一日を大切に、充実した学生生活を送り、素敵な保育士になれることを願っています。

総合文化学科1年 南澤 彩 / 母・靖子

資格は一生物です。私がこの大学で取得させていただいた保育士資格(昔は保母でしたが…)のおかげで、現在も保育士として働いています。結婚・育児と環境が変わっても、保育士という仕事は私の生きがいとなっています。

縁あって娘もこちらの総合文化学科にお世話になり、教員免許取得を目指し、日々学んでいます。毎日、楽しそうに学校の話をする姿に、関わってくださる先生方の温かい心配りを感じています。生き生きと毎日を過ごす姿に、「資格は人生の宝物になるよ、頑張る」と応援する母です。



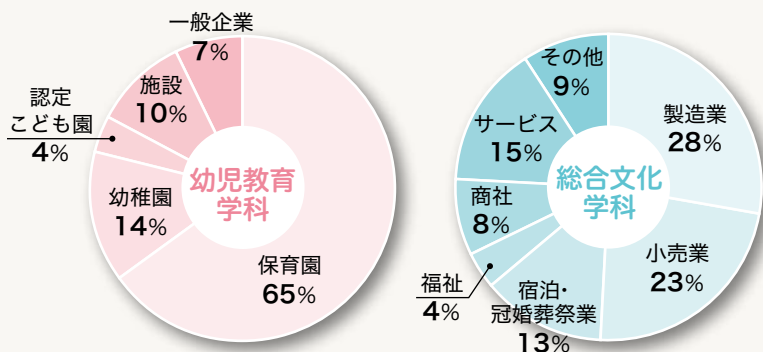


一緒にになりたい自分を見つけよう!!

進路サポート室より

平成30年度就職状況 (令和元年5月1日時点)

平成30年度は、幼児教育学科、総合文化学科ともに就職率100%となりました。



進路サポート室は、「笑顔で働ける場所へ」をテーマに夢に向かって頑張るあなたを応援します!

資格報奨金授与者

- MOS試験マイクロソフト・オフィススペシャリスト 10,000円
総合文化学科2年(岡谷東高校) 小松 紗季さん
総合文化学科2年(上田東高校) 高橋 遥月さん
- 秘書技能検定2級 10,000円
総合文化学科2年(坂城高校) 内田 彩華さん
総合文化学科2年(上田東高校) 本間 彩音さん
- 日商簿記検定3級 10,000円
総合文化学科2年(上田東高校) 本間 彩音さん
総合文化学科2年(上田千曲高校) 上原あずみさん
- 医療事務技能審査 10,000円
総合文化学科2年(上田東高校) 本間 彩音さん
総合文化学科2年(東御清翔高校) 柳澤 百花さん
総合文化学科2年(上田西高校) 山口 真由さん

資格を取得した皆さん
おめでとうございます!!

学内企業研究セミナー

2月13日(水)に学内合同企業研究セミナーを開催しました。地元の11社の企業が来てくださり、それぞれの業界(どんな仕事をしているのか)について学生たちにお話をいただきました。その企業の中には本学を卒業生した先輩もおり、学生たちにあたたかいエールを送ってくれました。最初は緊張している様子もありましたが、お話を聴いている内にわくわく・ドキドキした表情に...! 企業の方々から直接お話を聴くことで、今まで知らなかった業界にも興味を持ち、就職活動を行なっていくうえで、視野も広がってきました。



オープンキャンパス2019

サマーセミナー 8月 3日(土) 10:30~15:00

上越セミナー 8月24日(土) 13:00~15:30

オープンキャンパス秋 9月21日(土) 13:00~15:30

ミニオープンキャンパス

10月12日(土)・11月30日(土)

2020年1月18日(土)・2月8日(土)・3月28日(土)

入試相談コーナー(学海祭期間中)

11月2日(土)・3日(日)・(祝)

第46回 学海祭のお知らせ

令和元年11月2日(土)~3日(日)に学海祭を開催します。各サークルの発表や、同窓会主催講演会、高校生向け入試説明会、ゼミごとに出展する露店営業など、さまざまな企画を予定しています。普段とは違ったキャンパスの雰囲気をお楽しみください。皆様のご来場をお待ちしています!!



編集後記

開学当初より発行してきました「短大通信」は、昭和、平成と時代を重ねてまいりましたが、今年度より「後援会だより」「地域連携センターNEWS」を含めた合併号として発行することになりました。今後も学生の生き生きとした活動や保護者の皆様からのメッセージ、学内行事等をお知らせしていきます。新時代の幕開けとともに新しくなった「短大通信」を今後ともよろしく願っています。

末筆ではありますが原稿をお寄せくださいました皆様、ありがとうございました。①



学校法人 北野学園

上田女子短期大学
幼児教育学科/総合文化学科



上田女子短期大学通信のバックナンバーはこちら

〒386-1214 長野県上田市下之郷乙620 TEL0268-38-2352代 FAX0268-38-7315 E-mail info@uedawjc.ac.jp

ホームページ <http://www.uedawjc.ac.jp>